

亀裂深度計 RMG 4015 - これまで計測困難であった材料も可能となりました。

新機能：多点入力校正機能追加

表面開口傷の深さ測定に好評をいただいている亀裂深度計 RMG 4015 は簡単、迅速に傷の深さが測定できますので高価な材料部品、安全上重要な部署の検査に幅広く使用されています。深さを測ることで、補修の可否、深刻度を判定できるようになります。

様々な用途や形状に対応できるように Karl Deutsch 社では定評ある標準プローブの他に、豊富なプローブを取り揃えています。

このたび、RMG 4015 に改造を加え、性能アップされることになりました。これまでの機能ではキャリブレーションの手順は2点間校正に限られていましたが、新しい機能として、2点から最大20点まで任意の値を入力できるようになりました。この機能によって、磁性を有した材料や、電気的特性が特異な材料で、これまでは困難とされていた材料も精度良く測定できるようになりました。



従来の校正方法：（2点間校正）

ゼロ点と傷深さの最大に近い値の2点間で校正

新しい校正方法：（多点間校正）

最大20点までの値を入力して校正し記憶。

結果：

これまでの2点間校正では、中間値に誤差が生じてしまう特殊材料であっても直線性、精度が向上して使用できるようになりました。

価格は据え置きで、変更ありません。

これまでの2点間校正による、通常の材料における安定性、精度には全く影響がありません。

旧仕様の装置のバージョンアップも可能です。

